

Chiba Weekly Report

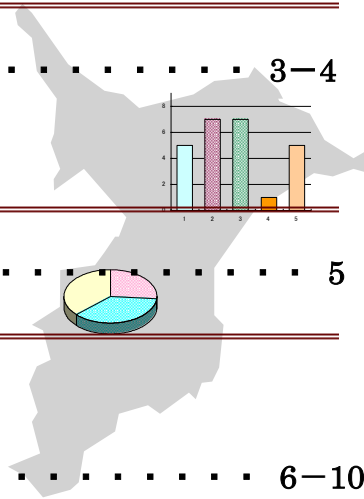
2022 — 第8週 — 2022/2/21~2022/2/27

千葉県結核・感染症週報

千葉県感染症天気図 2

今週の注目疾患 3-4

梅毒



全数報告疾患集計表 5



定点報告（五類感染症）

疾病別グラフ 6-10

〈男女合計〉

RS ウイルス感染症・咽頭結膜熱・A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎・感染性胃腸炎・
水痘・手足口病・伝染性紅斑・突発性発しん・ヘルパンギーナ・
流行性耳下腺炎・インフルエンザ・急性出血性結膜炎・流行性角結膜炎・
クラミジア肺炎・細菌性髄膜炎・マイコプラズマ肺炎・無菌性髄膜炎・
感染性胃腸炎（ロタウイルス）

疾患別・保健所別・年齢階級別集計表 11-14

〈男女合計〉

RS ウイルス感染症・咽頭結膜熱・A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎・感染性胃腸炎・
水痘・手足口病・伝染性紅斑・突発性発しん・ヘルパンギーナ・
流行性耳下腺炎・インフルエンザ・急性出血性結膜炎・流行性角結膜炎

定点把握対象の五類感染症

千葉県感染症天気図 2022年 第8週

上段は定点当たり報告数

定点当たり報告数＝報告数/定点医療機関数

下段は報告数

定点	疾病名	流行状況	コメント	8週	7週	6週	5週	4週
小児科	小児科定点医療機関数			127	130	130	128	128
	RSウイルス感染症			0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.02 2
	咽頭結膜熱			0.02 3	0.06 8	0.02 3	0.06 8	0.13 16
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		船橋市(1.2)	0.20 25	0.36 47	0.15 20	0.16 21	0.27 35
	感染性胃腸炎		印旛(6.9)、千葉市(5.3)、船橋市(5.1)	3.82 485	3.85 500	4.49 584	6.35 813	7.23 925
	水痘			0.04 5	0.05 6	0.04 5	0.05 7	0.11 14
	手足口病			0.02 2	0.05 7	0.06 8	0.09 12	0.10 13
	伝染性紅斑			0.02 2	0.01 1	0.01 1	0.01 1	0.01 1
	突発性発しん			0.22 28	0.22 29	0.13 17	0.22 28	0.24 31
	ヘルパンギーナ			0.00 0	0.01 1	0.03 4	0.01 1	0.05 7
	流行性耳下腺炎			0.01 1	0.04 5	0.02 3	0.05 6	0.03 4
	インフルエンザ	インフルエンザ定点医療機関数			205	208	208	206
インフルエンザ				0.00 1	0.00 1	0.00 1	0.00 0	0.03 6
眼科	眼科定点医療機関数			32	33	33	33	32
	急性出血性結膜炎		山武(1.0)	0.03 1	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0
	流行性角結膜炎		山武(1.0)	0.09 3	0.15 5	0.09 3	0.06 2	0.06 2
基幹病院	基幹定点医療機関数			9	9	9	9	9
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)			0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0
	細菌性髄膜炎			0.00 0	0.11 1	0.11 1	0.00 0	0.11 1
	マイコプラズマ肺炎			0.00 0	0.00 0	0.11 1	0.00 0	0.00 0
	無菌性髄膜炎			0.00 0	0.11 1	0.00 0	0.00 0	0.00 0
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)			0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0
全数	風しん			1	0	0	0	0
	麻しん			0	0	0	0	0

備考

増加 やや増加 変化なし やや減少 減少

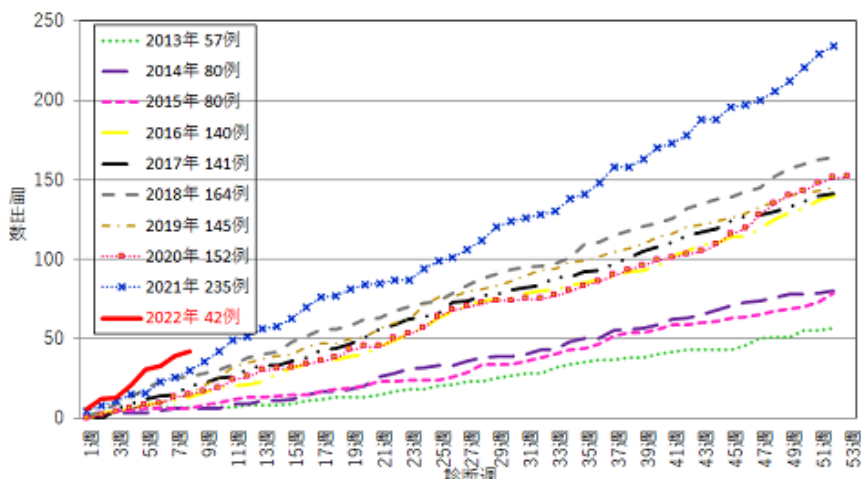
※診断日を基準とします。報告の追加、取り下げ等により、数値は今後変動することがあります。

【今週の注目疾患】

《梅毒》

2022年第8週に県内の医療機関より梅毒の報告が3例あり、2022年の累積届出数は42例となった。1999年の現行感染症サーベイランス開始以降最多を記録した昨年の同時期に比べ1.4倍の届出数（2021年第8週累積届出数30例）であり、本年も増加傾向が続いている（図）。

図：2013年～2022年8週千葉県の梅毒年別累積届出数（N=1236）



性別では男性32例（76%）、女性10例（24%）であった。年齢別では、男性は50代12例（38%）、40代9例（28%）、30代5例（16%）であった。女性は20代が8例（80%）であった。

病型別では、男性は早期顕症梅毒第Ⅰ期（以下、第Ⅰ期）が21例（66%）と最も多かった。女性は第Ⅰ期と第Ⅱ期がそれぞれ4例（40%）、無症状病原体保有者が2例（20%）であった。

なお、2022年においては、これまでのところ梅毒の妊娠症例や先天梅毒の症例は報告されていない。

推定される感染経路は性的接触が最も多く、38例（90%）であった。そのうちパートナー別では異性間性的接触が24例（57%）と多かった。性風俗産業従事歴別では、従事歴ありが5例（12%）、利用歴別では利用歴ありが12例（29%）報告されていた（表）。

表：2022年第8週までに報告のあった県内梅毒患者の推定感染経路・原因

推定感染経路・原因		症例数	割合(%)
性的接触		38	90%
パートナー別	同性間	4	10%
	異性間	24	57%
	不明・その他	10	24%
性風俗産業従事歴別	あり	5	12%
	なし	22	52%
	不明・記載なし	11	26%
性風俗産業利用歴別	あり	12	29%
	なし	10	24%
	不明・記載なし	16	38%
不明・その他		4	10%
合計		42	

梅毒の病原体は螺旋状菌の梅毒トレポネーマである。本菌は低酸素状態でしか長く生存できないため、主な感染経路は菌を排出している感染者（主に感染力の強い第Ⅰ期、第Ⅱ期の患者）との粘膜の接触を伴う性行為や疑似性行為（性器と性器、性器と肛門、性器と口の接触など）によるものである^{1)、2)}。

早期の薬物治療で完治が可能だが、検査や治療が遅れたり、治療せずに放置したりすると、長期間の経過で脳や心臓に重大な合併症を起こすことがある。時に無症状になりながら進行するた

め、治ったことを確認しないで途中で治療をやめないことが重要である。また、感染した人の血液中には一定の抗体があるが、再感染を予防できるわけではないので、注意が必要である²⁾。

感染後 3～6 週間の潜伏期間を経て、継時的に様々な臨床症状が逐次出現する。

第Ⅰ期：感染約 3 週間後に梅毒トレポネーマの感染部位（主に陰部、口唇部、口腔内、肛門等）に、しこりが形成されることがある。無痛性の所属リンパ節腫脹を伴うこともある。無治療でも数週間で軽快する。感染した可能性がある場合には、この時期に梅毒の検査が勧められる。

第Ⅱ期：第Ⅰ期の症状消失後、4～10 週間の潜伏期間を経て、病原体が血液によって全身に運ばれ、手のひら、足の裏、体全体にうっすらと赤い発疹がでることがある。小さなバラの花に似ていることからバラ疹とよばれる。そのほか、脱毛、発熱・倦怠感の全身症状等多彩な症状を呈する。無治療でも数週間で軽快するが、この時期に適切な治療を受けられなかった場合、数年後に複数の臓器に障害がおこることがある。

晩期頭症梅毒：無治療で経過した者のうち、約 3 分の 1 で起こる。ゴム腫、進行性の大動脈拡張を主体とする心血管梅毒、進行麻痺に代表される神経梅毒に進展する。場合によっては死に至る。

先天梅毒：梅毒に罹患している母体から胎盤を通じて胎児に伝播される多臓器感染症であり、死産、早産、新生児死亡、奇形が起こることがある^{1)、2)}。

予防方法は、感染者との性行為や疑似性行為を避けることが基本である。コンドームが覆わない部分の皮膚などでも感染がおこる可能性があるため、コンドームの使用は完全ではないものの予防効果があることが示唆されている^{1)、2)}。

治療は早期に薬物治療を開始することが重要となる。異変を感じた場合や心配なことがある場合には早めに検査を受け、早期発見・早期治療に繋げることが重要である。また、再感染をする可能性もあるため、パートナーとともに健診をうけることが推奨される²⁾。

県では保健所において無料・匿名の検査を実施しているとともに、昨年 10 月からはちば県民保健予防財団への委託による検査を毎月実施しているため、受検を希望する方は活用されたい。なお、最新の検査実施状況については、県ホームページ等でご確認いただきたい³⁾。

■参考

1) 国立感染症研究所：梅毒とは

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/465-syphilis-info.html>

2) 厚生労働省：梅毒に関する Q&A

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/seikansenshou/qanda2.html

3) 千葉県：エイズ・性感染症関連情報

<https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/aids/index.html>

第8週全数報告疾患集計表

一類感染症	今週	累計(年)
エボラ出血熱	0	0
クリミア・コンゴ出血熱	0	0
痘そう	0	0
南米出血熱	0	0
ベスト	0	0
マールブルグ病	0	0
ラッサ熱	0	0

二類感染症	今週	累計(年)
急性灰白髄炎	0	0
結核	13	101
ジフテリア	0	0
重症急性呼吸器症候群(SARS)	0	0
中東呼吸器症候群(MERS)	0	0
鳥インフルエンザ(H5N1)	0	0
鳥インフルエンザ(H7N9)	0	0

三類感染症	今週	累計(年)
コレラ	0	0
細菌性赤痢	0	0
腸管出血性大腸菌感染症	1	4
腸チフス	0	0
パラチフス	0	0

四類感染症(その1)	今週	累計(年)
E型肝炎	1	12
ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)	0	0
A型肝炎	1	1
エキノコックス症	0	0
黄熱	0	0
オウム病	0	0
オムスク出血熱	0	0
回帰熱	0	0
キャサナル森林病	0	0
Q熱	0	0
狂犬病	0	0
コクシジオイデス症	0	0
サル痘	0	0
ジカウイルス感染症	0	0
重症熱性血小板減少症候群(SFTS)	0	0
腎症候性出血熱	0	0
西部ウマ脳炎	0	0
ダニ媒介脳炎	0	0
炭疽	0	0
チクングニア熱	0	0
つつが虫病	0	3
デング熱	0	0
東部ウマ脳炎	0	0
鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)	0	0
ニパウイルス感染症	0	0

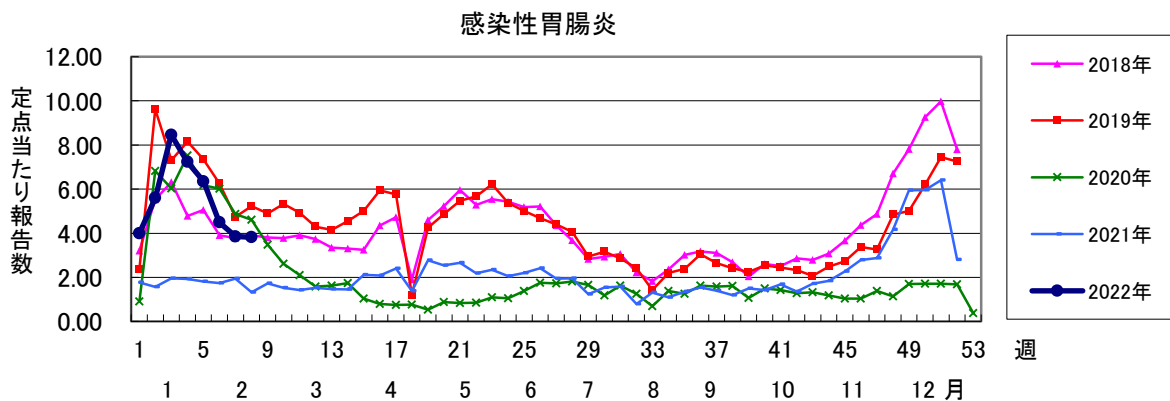
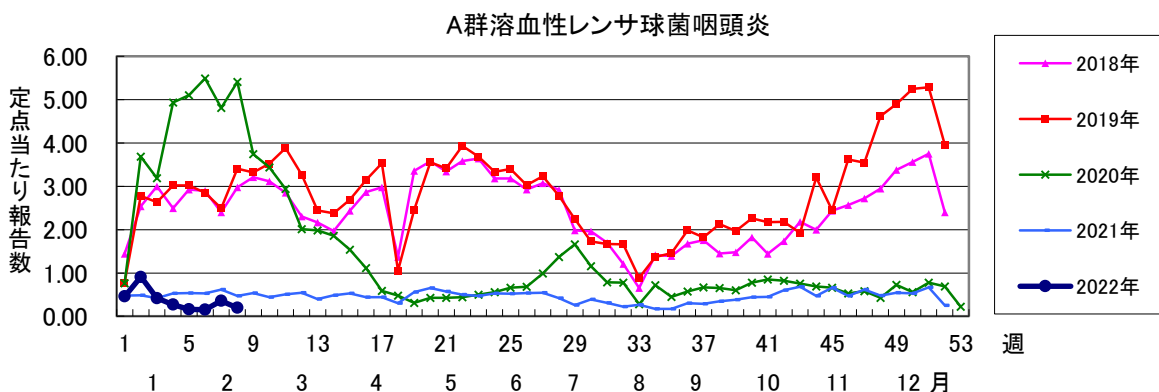
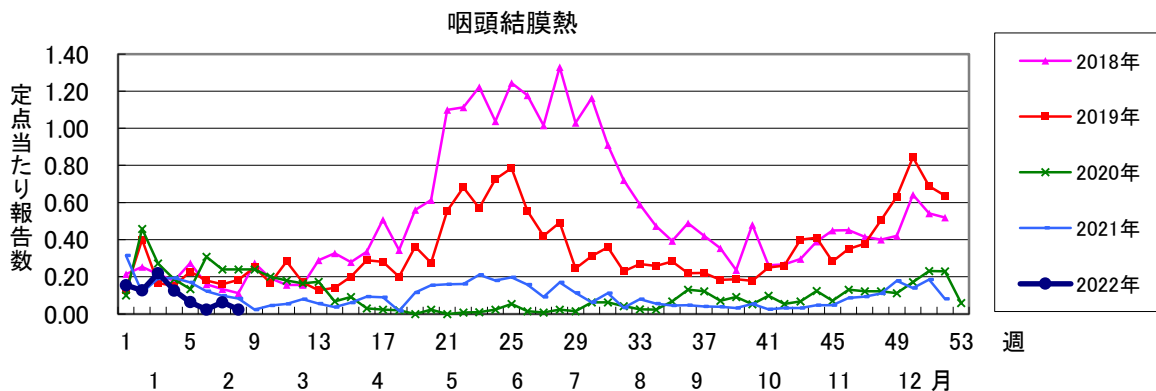
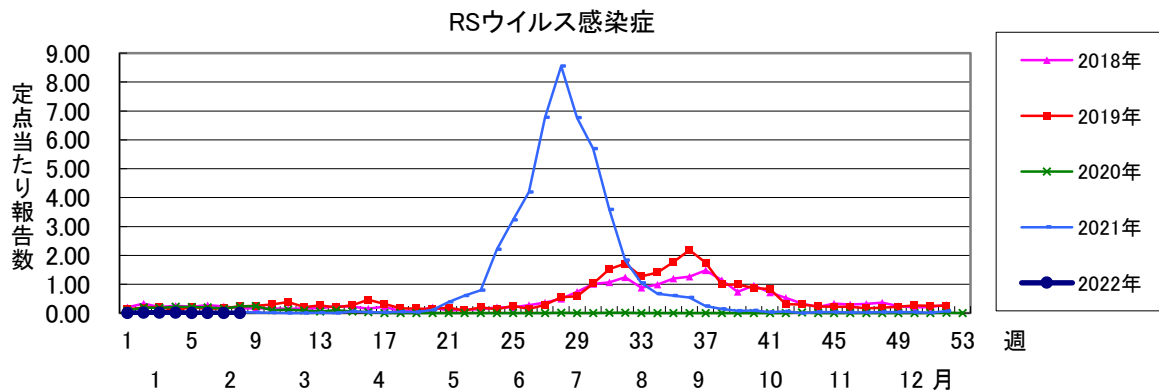
四類感染症(その2)	今週	累計(年)
日本紅斑熱	0	0
日本脳炎	0	0
ハンタウイルス肺症候群	0	0
Bウイルス病	0	0
鼻疽	0	0
ブルセラ症	0	0
ベネズエラウマ脳炎	0	0
ヘンドラウイルス感染症	0	0
発しんチフス	0	0
ポツリヌス症	0	0
マラリア	0	0
野兔病	0	0
ライム病	0	0
リッサウイルス感染症	0	0
リフトバレー熱	0	0
類鼻疽	0	0
レジオネラ症	0	9
レプトスピラ症	0	0
ロッキー山紅斑熱	0	0

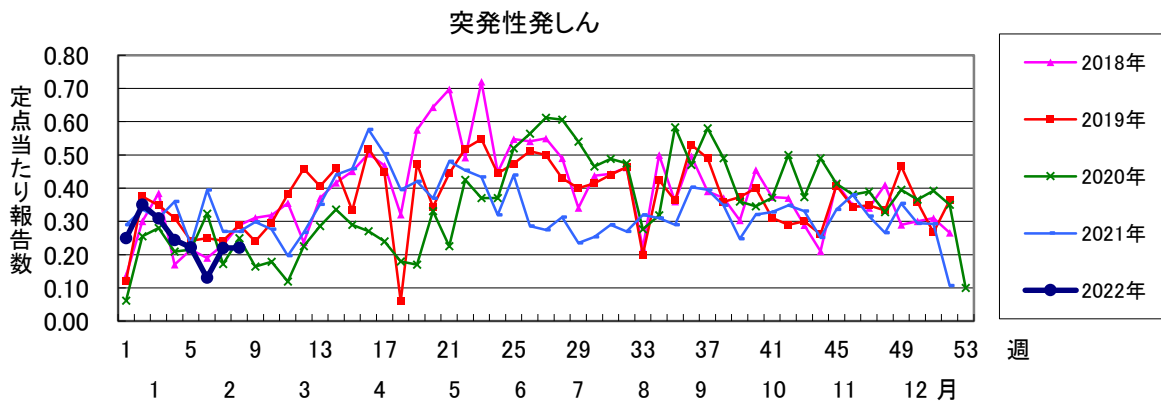
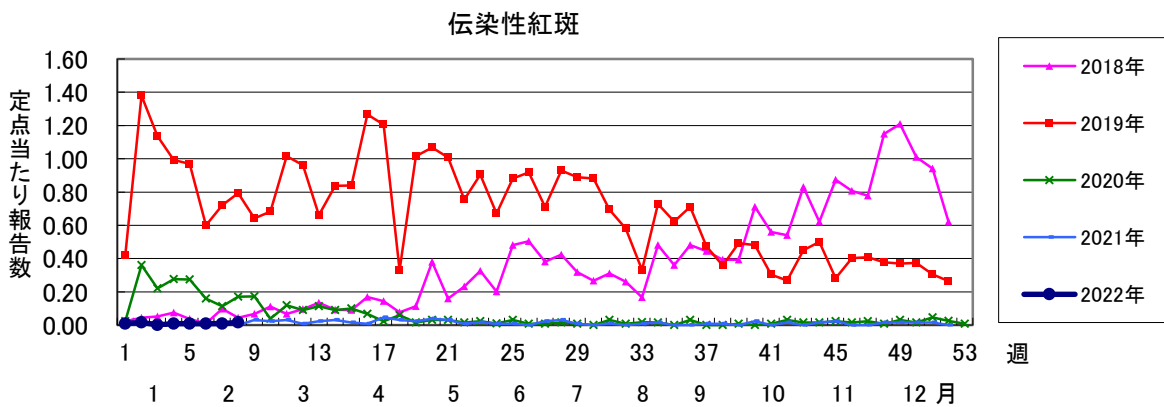
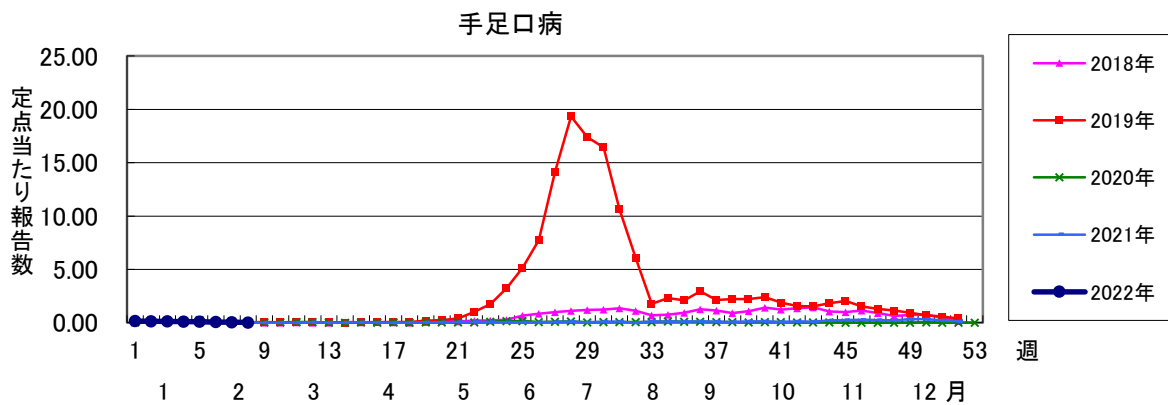
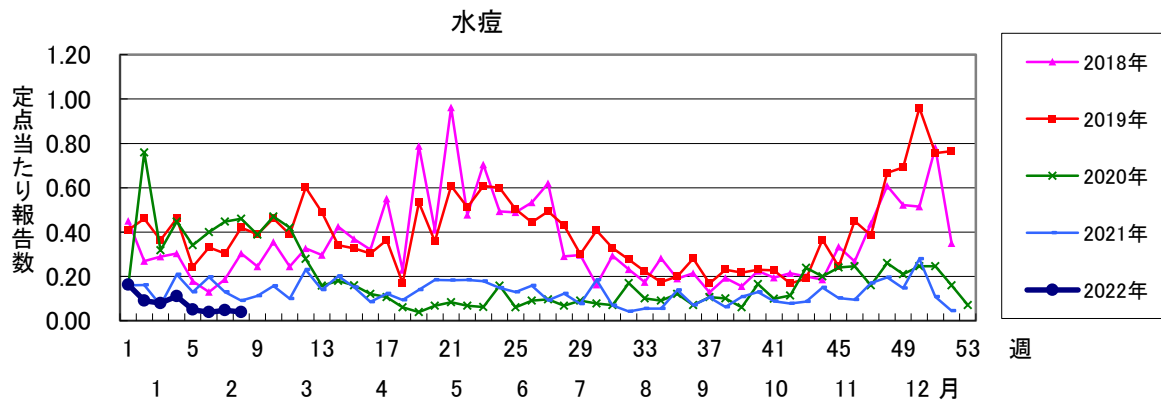
五類感染症(全数)	今週	累計(年)
アメーバ赤痢	0	1
ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)	0	2
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	6
急性弛緩性麻痺	0	0
急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く)	0	2
クリプトスポリジウム症	0	0
クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	3
後天性免疫不全症候群	0	2
ジアルジア症	0	0
侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	0
侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0
侵襲性肺炎球菌感染症	0	3
水痘(入院例)	0	1
先天性風しん症候群	0	0
梅毒	3	42
播種性クリプトコックス症	0	1
破傷風	0	0
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	2
百日咳	0	1
風しん	1	1
麻しん	0	0
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0

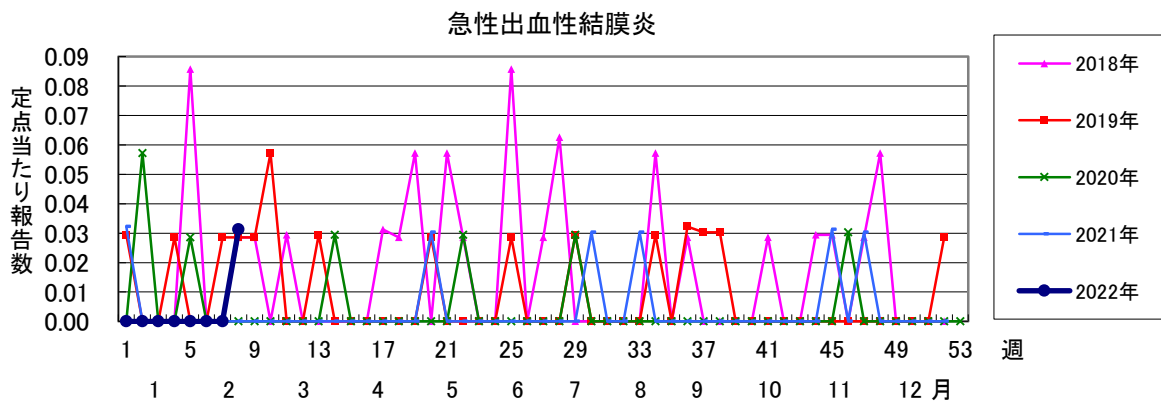
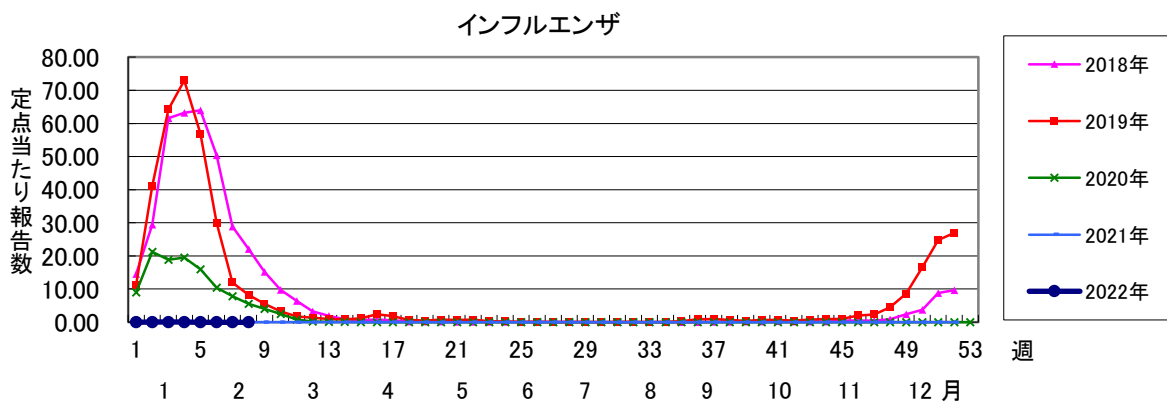
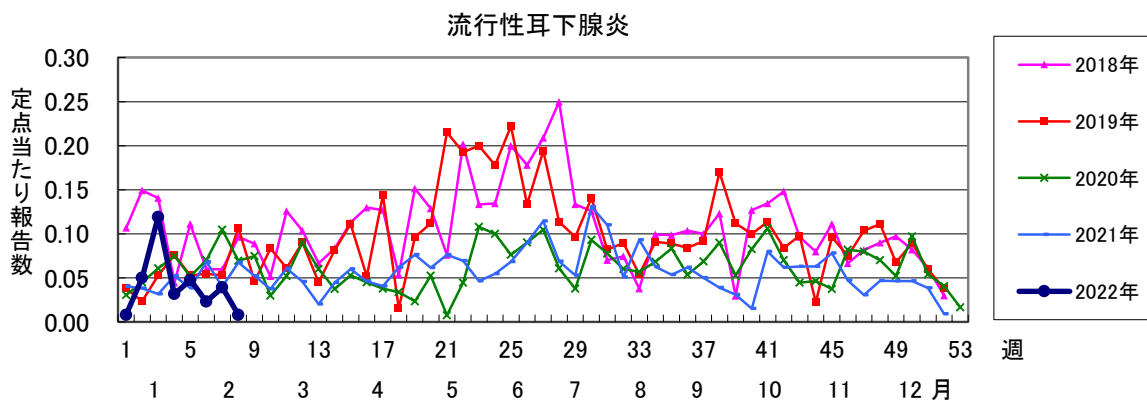
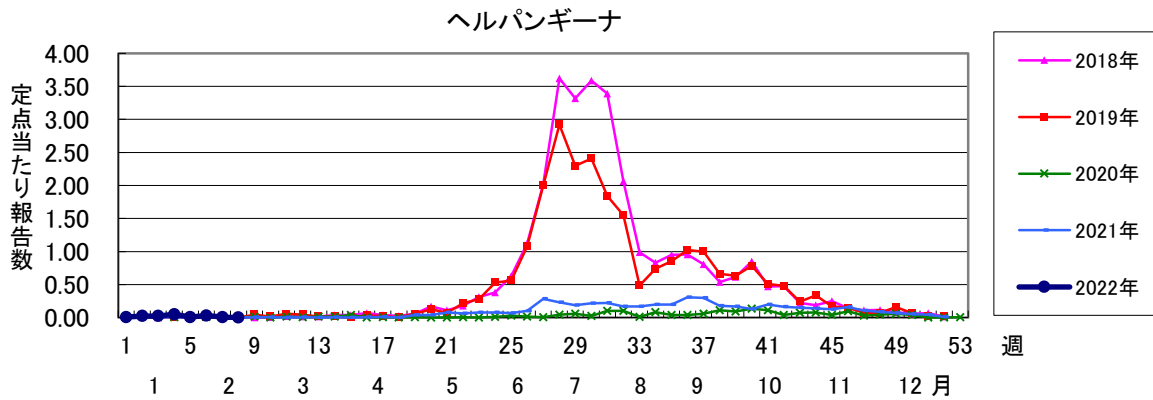
新型インフルエンザ等感染症(その1)	累計
新型コロナウイルス感染症*	271,179

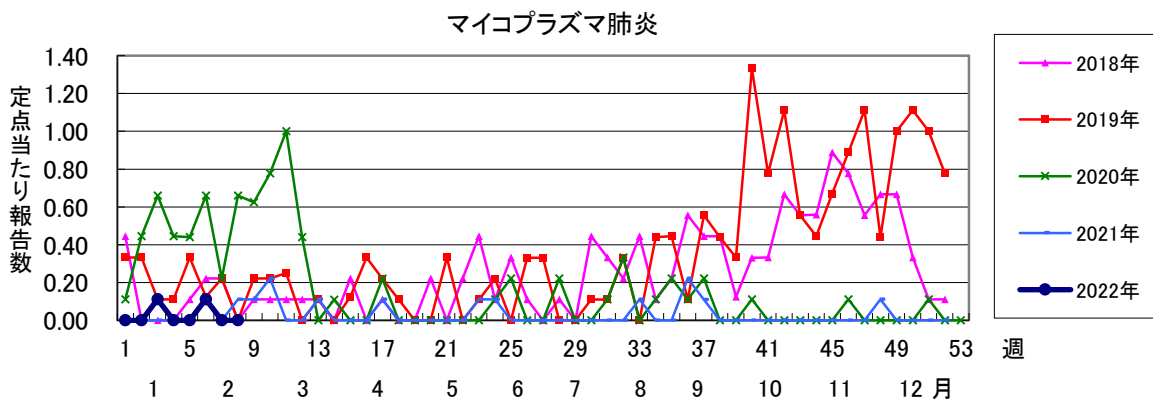
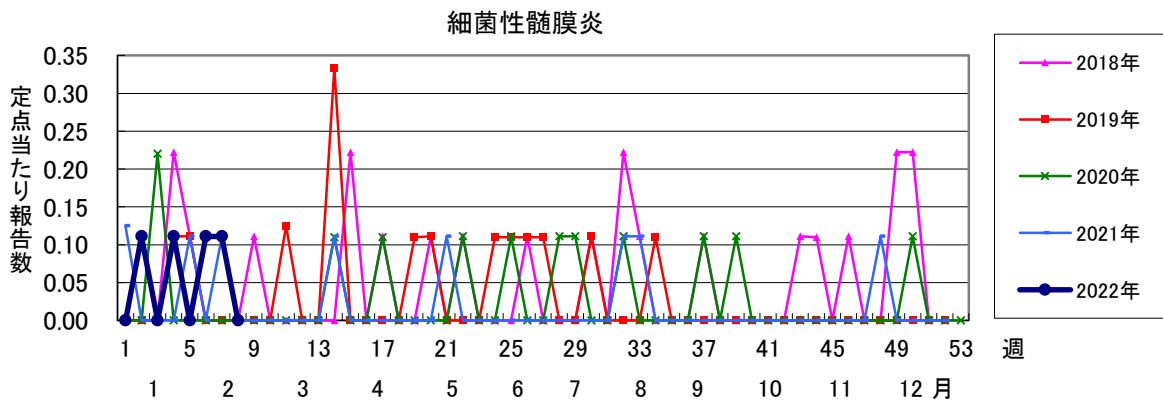
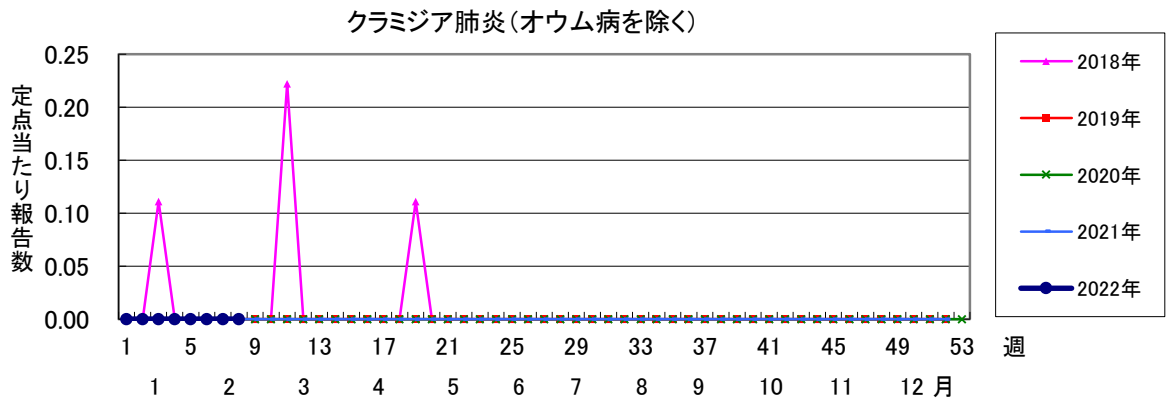
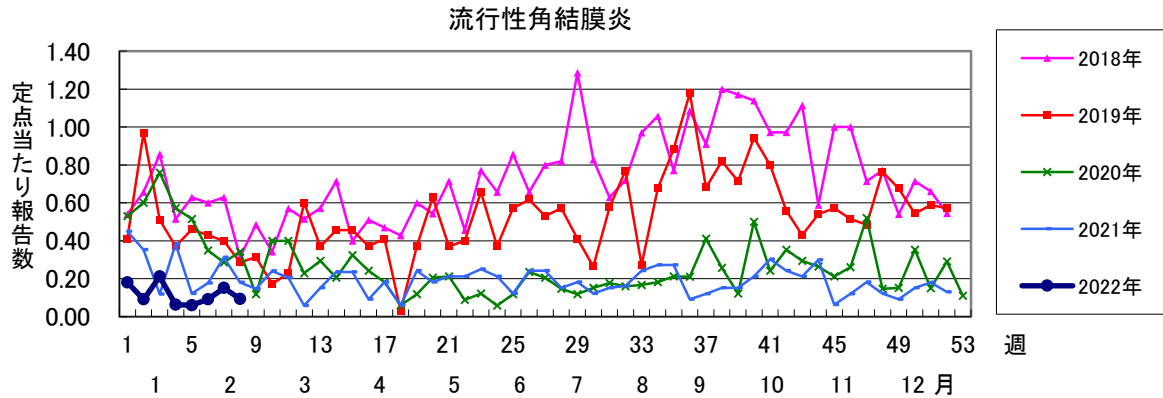
新型インフルエンザ等感染症(その2)	今週	累計(年)
新型インフルエンザ	0	0
再興型インフルエンザ	0	0

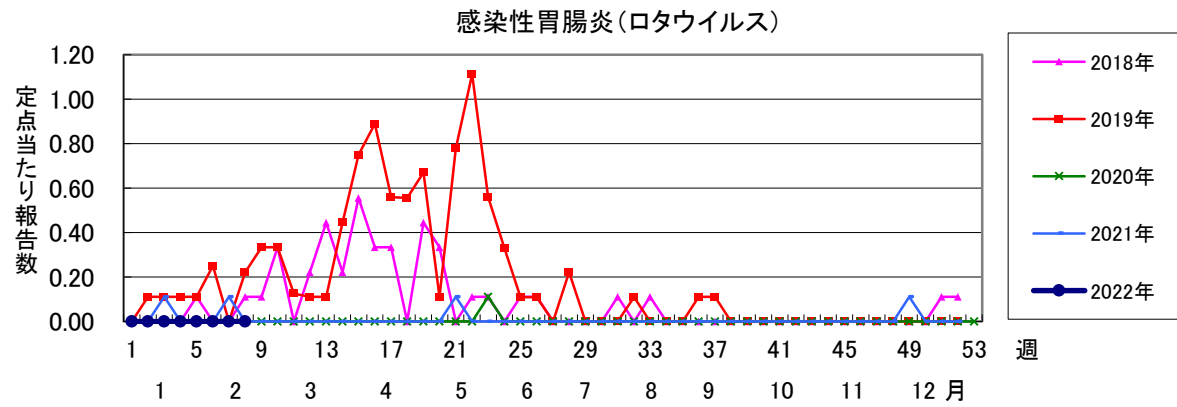
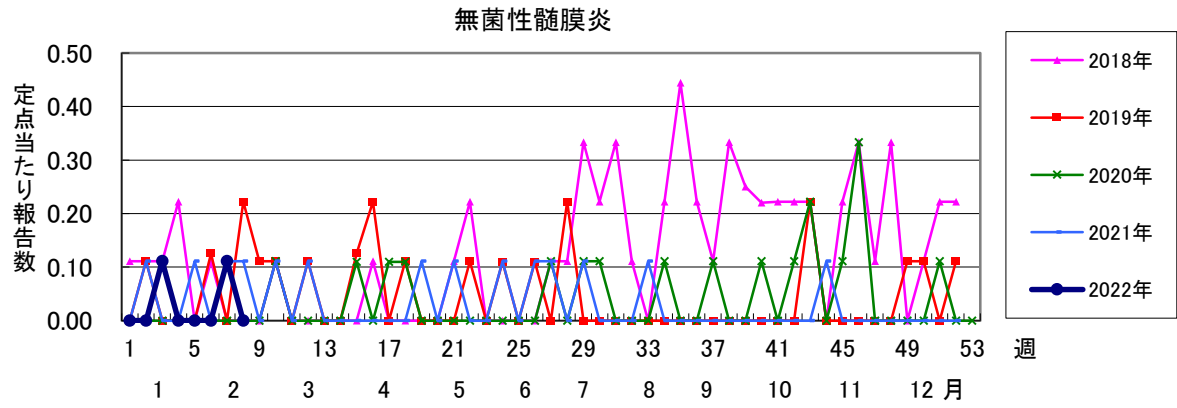
*千葉県報道発表による(3月1日13時現在)











2022年 第8週		保健所別、年齢群別報告数(男女合計)														No.1			
		野	柏	松	市	船	習	千	印	香	海	山	長	夷	安	君	市	合	
		田	市	戸	川	橋	野	葉	旛	取	匝	武	生	隅	房	津	原	計	
小児科定点数		4	9	15	9	10	10	18	15	3	3	6	4	3	4	7	7	127	
RSウイルス感染症	～5ヶ月～11ヶ月																		
	1歳																		
	2歳																		
	3歳																		
	4歳																		
	5歳																		
	6歳																		
	7歳																		
	8歳																		
	9歳																		
	10～14歳																		
	15～19歳																		
	20歳以上																		
合計																			
咽頭結膜熱	～5ヶ月～11ヶ月																		
	1歳			1				1										2	
	2歳																		
	3歳																		
	4歳																		
	5歳			1														1	
	6歳																		
	7歳																		
	8歳																		
	9歳																		
	10～14歳																		
	15～19歳																		
	20歳以上																		
合計				2				1										3	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	～5ヶ月～11ヶ月																		
	1歳																		
	2歳																1	1	
	3歳					1		1									2	4	
	4歳										1						1	2	
	5歳					1			1									2	
	6歳					1		1	1									3	
	7歳					1												1	
	8歳					3												3	
	9歳			1		1												2	
	10～14歳					4												4	
	15～19歳									1								1	
	20歳以上								1	1								2	
合計				1		12		3	4		1						4	25	
感染性胃腸炎	～5ヶ月～11ヶ月								1									1	
	1歳	1	4	11	5	4	1	19	14		4	1	3			1	4	72	
	2歳		9	14	3	7	3	19	14			5	1				3	78	
	3歳		4	10	1	8	5	13	5	1		2					4	53	
	4歳	1	2	7	2	9	1	11	14			1	1				6	55	
	5歳		1	6	3	2	1	8	6	1		2	1			1	2	34	
	6歳		2	2	1	4	2	4	2		2						3	22	
	7歳		2	4	3	4		4	4			1	1				1	24	
	8歳		2	6		1		2	2				1				2	16	
	9歳		1	5				2	3		1							12	
	10～14歳		2	4		9	1	3	7	1	2						2	31	
	15～19歳				1	1			4	3								9	
	20歳以上	1	9	1	1	1		1	24	5	1	5				1	4	54	
合計		3	39	71	23	51	15	95	103	12	11	17	8			3	34	485	

2022年 第8週		保健所別、年齢群別報告数(男女合計)														No.2			
		野	柏	松	市	船	習	千	印	香	海	山	長	夷	安	君	市	合	
		田	市	戸	川	橋	志	葉	旛	取	匝	武	生	隅	房	津	原	計	
小児科定点数		4	9	15	9	10	10	18	15	3	3	6	4	3	4	7	7	127	
水痘	～5ヶ月 ～11ヶ月																		
	1歳																		
	2歳					1												1	
	3歳																		
	4歳																		
	5歳																		
	6歳					1			1									2	
	7歳																		
	8歳							1											1
	9歳							1											1
10～14歳																			
15～19歳																			
20歳以上																			
合計					2	2		1										5	
手足口病	～5ヶ月 ～11ヶ月																		
	1歳		1															1	
	2歳																		
	3歳																		
	4歳																		
	5歳					1												1	
	6歳																		
	7歳																		
	8歳																		
	9歳																		
10～14歳																			
15～19歳																			
20歳以上																			
合計		1		1														2	
伝染性紅斑	～5ヶ月 ～11ヶ月																		
	1歳																		
	2歳							1										1	
	3歳																		
	4歳																		
	5歳																		
	6歳																		
	7歳																		
	8歳																		
	9歳																1		1
10～14歳																			
15～19歳																			
20歳以上																			
合計								1								1		2	
突発性発しん	～5ヶ月 ～11ヶ月								1									1	
	1歳		1		1						2		1	1				4	
	2歳		2	1			1	8	2							2		18	
	3歳			1	1			2	1									5	
	4歳																		
	5歳																		
	6歳																		
	7歳																		
	8歳																		
	9歳																		
10～14歳																			
15～19歳																			
20歳以上																			
合計		3	2	2		1	10	4		2	1	1				2		28	

2022年 第8週

保健所別、年齢群別報告数(男女合計)

No.3

		野	柏	松	市	船	習	千	印	香	海	山	長	夷	安	君	市	合
		田	市	戸	川	橋	志	葉	旛	取	匝	武	生	隅	房	津	原	計
小児科定点数		4	9	15	9	10	10	18	15	3	3	6	4	3	4	7	7	127
ヘルパンギーナ	～5ヶ月																	
	～11ヶ月																	
	1歳																	
	2歳																	
	3歳																	
	4歳																	
	5歳																	
	6歳																	
	7歳																	
	8歳																	
	9歳																	
	10～14歳																	
15～19歳																		
20歳以上																		
合計																		
流行性耳下腺炎	～5ヶ月																	
	～11ヶ月																	
	1歳																	
	2歳																	
	3歳																	
	4歳																	
	5歳																	
	6歳																	
	7歳							1										1
	8歳																	
	9歳																	
	10～14歳																	
15～19歳																		
20歳以上																		
合計							1										1	

2022年 第8週

保健所別、年齢群別報告数(男女合計)

No.4

		野	柏	松	市	船	習	千	印	香	海	山	長	夷	安	君	市	合		
		田	市	戸	川	市	志	葉	旛	取	匝	武	生	隅	房	津	原	計		
インフル定点数		7	14	24	15	16	16	28	23	6	6	9	7	5	7	11	11	205		
インフル エンザ	～5ヶ月 ～11ヶ月																			
	1歳																			
	2歳																			
	3歳																			
	4歳																			
	5歳																			
	6歳																			
	7歳																			
	8歳																			
	9歳																			
	10～14歳																1		1	
	15～19歳																			
	20～29歳																			
	30～39歳																			
40～49歳																				
50～59歳																				
60～69歳																				
70～79歳																				
80歳以上																				
合計																1		1		
眼科 定点数		1	2	5	1	3	2	5	4	1	1	1	1	1	1	2	2	32		
急性出 血性 結膜 炎	～5ヶ月 ～11ヶ月																			
	1歳																			
	2歳																			
	3歳																			
	4歳																			
	5歳																			
	6歳																			
	7歳																			
	8歳																			
	9歳																			
	10～14歳																			
	15～19歳																			
	20～29歳																			
	30～39歳																			
40～49歳																				
50～59歳																				
60～69歳																				
70歳以上																	1		1	
合計																	1		1	
流行性 角結 膜炎	～5ヶ月 ～11ヶ月																			
	1歳																			
	2歳																			
	3歳																			
	4歳																			
	5歳																			
	6歳																			
	7歳																			
	8歳																			
	9歳																			
	10～14歳																			
	15～19歳																			
	20～29歳									1			1						1	
	30～39歳																		1	
40～49歳																				
50～59歳								1										1		
60～69歳																				
70歳以上																				
合計								1		1		1						3		

※ 千葉県の感染症情報は、千葉県感染症情報センターのホームページを御覧ください。

URL. <https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/index.html>

※ 全国の感染症情報(IDWR)は、国立感染症研究所感染症疫学センターのホームページを御覧ください。

URL. <https://www.nih.gov/niid/ja/from-idsc.html>

千葉県結核・感染症週報 2022年 第8週

発行 千葉県衛生研究所
千葉県健康福祉部
千葉県医師会
事務局 千葉県衛生研究所感染疫学研究室内
千葉県感染症情報センター
〒260-8715 千葉市中央区仁戸名町 666-2
TEL. 043(266)6723 FAX. 043(265)5544

本週報は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づくものであり、千葉県内の医療従事者、定点医療機関、県及び千葉市保健所の皆様の御協力を得て、千葉県衛生研究所感染疫学研究室内の千葉県感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査などの結果に応じて、若干の変更が生ずることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。